

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

「難民」から世界の今を考える



～一人ひとりの物語からはじめよう～

ロシアによるウクライナ侵攻で多くの難民・避難民が生まれ、積極的な支援が始まりました。UNHCRの統計によれば、これまでに紛争や迫害により故郷を追われた人の数は世界では8240万人にのぼります（2020）。その多くは近隣の開発途上国が受け入れ、長い難民キャンプでの生活を余儀なくされています。リベリア難民の生の声を通して、日々の暮らしや支援の実情と、日本での難民の受け入れや自立支援の違いを知って、私たちにできることを考えましょう。

講師：小俣 直彦 さん（オックスフォード大学国際開発学部）

日時：2022年 9月3日（土）16:00～4日（日）12:00

場所：関西セミナーハウス（裏面に地図）

本セミナーは小俣さんの帰国に合わせて対面で開催する予定です。

参加費：11,000円（1泊夕朝食込み）+ 200円（京都市宿泊税）

- *今回は、1室1名を基本とします。差額はありません。（ご家族は相部屋可能）
- *2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。（1,200円）
- *Webサイト（申込フォーム）、Fax（裏面書式）、電話、メール等でお申込みください。
- *申込締切：8月28日（日）、または定員20名に達し次第。（締切日以降は、お問い合わせください。）
- *部分参加については事務局にお問合せ下さい。*前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

ただし、ウクライナ情勢などに関わる諸々の事情により万が一、予定日までに日本への移動ができなくなった場合、オンラインによる開催の可能性があることを、お含みおきください。その場合は、当センターウェブサイトなどでお知らせします。お申込の方には、個別にご案内します。

小俣 直彦 おまた なおひこ

1970年生まれ。邦銀勤務を経て、2004年アメリカ、タフツ大学大学院修了。国連機関やNGOで実務家としてアフリカの開発・難民支援の現場に携わった後、研究者の道へ。2012年ロンドン大学博士課程修了。同年からオックスフォード大学国際開発学部難民研究センター勤務。現在は同大学准教授。主に東アフリカで難民の経済生活の調査にあたる。日本語での主著『アフリカの難民キャンプで暮らす-ブジュラムでのフィールドワーク401日』こぶな書店。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- ・ご出発前に、**検温**をお願いします。（お忘れの場合、来館時にお願いいたします。）
- ・ご体調のすぐれない方は、参加をお控えください。・セミナー中、**マスク**の着用をお願いします。

【1日目】 15:30 ~ 受付（検温結果、体調もお尋ねします）
16:00 ~ **【第1セッション】「世界の難民の現状」**

- ・ミニワーク
- ・小俣さんのお話
- ・はなしあい

セミナー期間中、
開発教育関連書籍
の販売があります。

18:00 ~ 夕食・休憩

19:00 ~ **【第2セッション】「アフリカの難民キャンプで暮らす」**

- ・ミニワーク
- ・小俣さんのお話
- ・はなしあい



21:00 1日目終了

【2日目】 8:00 ~ 朝食

9:00 ~ **【第3セッション】「『難民』と私たちの社会」**

- ・ミニワーク
- ・小俣さんのお話
- ・質疑応答
- ・はなしあい
- ・まとめ



12:00 終了予定

◇ 2022年度 開発教育セミナー これからの予定

第4回 10月15日(土) 「『食』を世界の真ん中において、世界のあり方を根源から見直す」

講師 藤原 辰史さん（京都大学人文科学研究所） 会場：京都市国際交流会館（kokoka）

第5回 11月12日(土)～13日(日) 「ともに生きる社会のかたちをみつけよう！」

講師 藤井 邦洋さん（「NPO法人ともにいきる宝塚」理事）

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト（<http://www.academy-kansai.org>）にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木（とき）



[2022年度 第3回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 () -	FAX () -
電子メール:	@
通信欄	